

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の養成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成16年8月現在、130団体が加入しています。

今年の活動を、いくつかポイントを絞って詳しくご紹介いたします。

【第4回川に学ぶ体験活動全国大会in日野川流域】

「川に学ぶ」社会形成に向け、「川に学ぶ」ことの意義を普及することを目的にして開催されていますが、今年は日本海側での体験活動を掘り起こし、その地域での「川に学ぶ」活動に学び、応援するという趣旨で、福井県武生市を中心とした日野川流域で8月21日（土）・22日（日）に開催されました。福井豪雨で被害にあった地域でしたが、実行委員会の方々による不眠不休の努力で予定通り開催されました。今回の大会では急遽、「水害等の災害時における市民ボランティアの役割について」も考えるよい機会となったと思います。詳細な報告は次の機会に行わせていただきます。

【川の指導者養成制度について】

先に行われた（5月8日東京）理事会にて、川の指導者養成制度に関するいくつかの規約が成立しました。重要なポイントは、川の指導者養成講座を開催するには、下記の要件が必要となったことです。

① RAC正会員になること

所定の様式で申請をし、理事会にて認められれば会員になることができます。

② 指導者養成団体の認定を受けること

認定要件のポイントは事務処理、安全管理ができること、RACトレーナーを配置できることです。

③ 開催する指導者養成講座の事業認定を受けること

現在、講座開催の1ヶ月前までに申請が必要ですが、認定を受ける要件としては、その講座にRACの定める共通カリキュラムが全て含まれており、その講座の講師は適切な人か（特に安全対策に関する講師）、講座開催後に継続的に養成した指導者を活用する計画があるか等です。

【RACトレーナー研修会】

先に成立した指導者養成制度の規約により、川の指導者養成講座を開催する場合には、RACの認めるトレーナーが必要となりました。またCONE（自然体験活動推進協議会）との連携により、RAC指導者養成を行うとCONE指導者としての修了カードも発行できるようになりました。そのため、RACではCONEと協力して、トレーナーを養成開始しています。今回は西日本で11月12日（金）～14日（日）に広島県三次市にて開催の予定です。

【子どもの水辺安全講習会】

主に小学生を対象に自分の身の守り方、簡単な救助の方法等を、実際に川に入っていくものです。学校から要望があれば、全国どこでも開催しますので、下記のRACホームページより申込みください（定員になり次第締切り）。



体育館での安全実習の様子

<今後へ向けて>

今年度中を完成目標に、川での体験活動をする際に指導者が身につけておくべき安全管理のノウハウを出版物としてまとめる予定です。川の指導者をはじめ、河川広報等で水辺に子どもを引率する、またはサポートする人たちなども必見の一冊となると思います。乞うご期待ください。

《川に学ぶ体験活動協議会》

東京都中央区入船1-9-12 河川環境管理財団内
TEL. 03-3297-2608 FAX. 03-3297-2609
<http://www.rac.gr.jp/>
(子ども水辺サポートセンター内)